

単元名：

「鎌倉幕府滅亡」

(全○時間扱い中 第○時)

授業日時 2019年9月11日(水) 第1校時

授業学級 6年2組

授業会場 6年2組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

鎌倉幕府が元寇を退けたことを知った児童は、その後の鎌倉幕府の危機を、自分ならどのような政策するかを幕府の役人の立場でとなり、鎌倉幕府の滅亡について考えることができる。

(2) 授業のポイント

- ・元寇や北条時宗の行動から、北条時宗の人柄や思想を考えた。【前時までの子どもの様子】
- ・鎌倉幕府の役人の立場で当時の状況を考えることを通して、鎌倉幕府の滅亡に迫っていく。【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	予想される児童の反応	○授業者の主発問・◇留意点 ★教材	時間
導入	1. 前回の復習	・ フビライハン ・ 元が弱かった	○「前回の授業では、元という大きな国が日本に攻めてきて、幕府軍が勝利したことをやりましたね。」 ★パワーポイント	10
	2. その後の鎌倉幕府の状況を説明する（幕府の状況や御家人の生活の現状を紹介する） 問題：苦しい状況に追い込まれた幕府は、どのような政策を考えたのだろうか？	・ 勝っても土地がもらえないからしょうがない ・ 御家人可哀そう ・ 嘘つきじゃん	○「それではその後の幕府がどのようなになったのか少し見てみましょう。」 ◇幕府の状況や御家人の生活の現状を紹介する	
	【学習課題】幕府の役人の立場になって、幕府の危機を救う政策を考えよう。			

展開	3. 一人で考える		○「まず自分一人でどのような政策をするか考えましょう」 「考えるにあたって2つの資料、歴史のかけらを提示します」 ★御家人、幕府、金融業者の関係図と分割相続の図	25
	4. 班で意見を共有し、一つの意見を出す		○「それでは班でよいと思う政策を1つ選んでください」	
	5. クラスで1つの政策を選ぶ		○「班で出たこれらの中から1ついいものに手をあげてください」	
【評価（対象）】鎌倉幕府を救う政策を考えることができる（ワークシート）				
終末	6. 徳政令と幕府の滅亡についての説明	・徳政令知っている ・そんなことがあったのだ	○「たくさんの意見が出たけど、実際に鎌倉幕府の取った政策を紹介します」 ★パワーポイント	10
	7.まとめ・振り返り		○「最後に、今日気づいたことやわかったことを書いて提出してください」	